



世界に希望を生み出そう

# 脇町ロータリークラブ

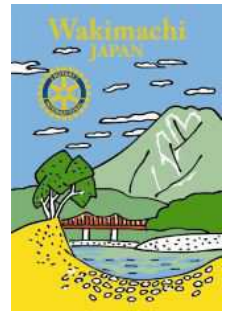
第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2023年11月30日 木曜日

第20回例会 No. 2859

会員総数:40名 出席者27名 修正出席率:95.00%



## ●メーキャップ

11月23日(木) 阿波池田RC主催 5クラブゴルフ大会 出席者11名 (名前省略)

## ●会長挨拶

川原会長 皆様、こんにちは。本日も、多くの方にお集まりいただき、ありがとうございます。吉岡ガバナー、笠井ガバナー補佐、久岡様、法村様、この度は、私たちの定例会にご参加いただき、心からの感謝を申し上げます。今日は、私たちのクラブにとって、新たな章を開く貴重な機会です。吉岡ガバナーが提唱された「挑戦しよう」というテーマは、私たち脇町ロータリークラブにも深く響いております。私たちも今期のテーマを「継続と変化」と定め、以下の三つの柱を中心に活動を進めています。

①「例会の充実」: 私たちは、会員の健康と安全を最優先に考えつつ、友情と親睦を深め、コロナ禍以前の日常を取り戻すための充実した例会を目指しています。私たちの親密な関係が、ロータリーの理念を、さらに強化する土台になると信じております。

②「ロータリーを学ぼう」: 卓話や様々な教育プログラムを通じて、ロータリーの理念、歴史、そして私たちの活動が地域社会にどのような影響を与えているかを学びます。これにより、ロータリーの世界観を広げ、私たちのサービスが、より一層効果的となることを期待しています。

③「60周年への準備」: 来る記念すべき60周年に向けて、今後一年間は周年事業の準備期間と位置づけ、計画的に活動を進めてまいります。これは、私たちのクラブだけでなく、地域社会にとっても意義深い節目となるでしょう。

吉岡ガバナーの方針にある「挑戦しよう」というメッセージは、私たち脇町ロータリークラブの活動をさらに推進し、新たな取り組みへの挑戦を促します。私たちの継続的な努力と革新的な変化により、ロータリーの規範ともいえる4つのテスト、中核的価値観を体現し、奉仕と親睦を、より一層積極的に取り組む所存です。最後になりましたが、吉岡ガバナーの一層のご指導とご支援を、心からお願い申し上げます。私たちのクラブが、これからも地域社会における、明るく平和な存在となるよう、一丸となって努力して参ります。皆様の変わらぬ支えと共に、私たち脇町ロータリークラブは、次なる60年へと向かう準備を進めてまいります。皆様、本日も、ありがとうございました。

## ●幹事報告

佐藤直樹幹事

到着週報

鴨島 阿波池田 美馬 洲本各RC

到着書類

ロータリーの友、2022-2023年度地区概況

連絡事項

次回、例会終了後、理事会および60周年実行委員会を行います。

## ●委員会報告

ゴルフ部

11月23日(木) 5クラブゴルフへご参加いただきありがとうございました。

笠井部長

脇町はみごと準優勝でした。

## ●プログラム

卓話

皆さんこんにちは。30年ぶりに脇町に帰ってまいりました。

吉岡ガバナー

あの当時、私は38歳で徳島銀行の中で一番若い支店長だったと思います。強烈な思い出があるのは、朝まで営業接待をしていて銀行に不在だったのですが、そのまま出社すると、昨日夕方に家から何回も電話がかかっていたと言われました。すぐさま家に電話したら、誰も出ません。そのとき何が起こったのか直感的に分かりました。私の長男が生まれたのです。慌てて病院にすぐ行きました。怒られました。吉岡家では、実は50年ぶりの男の子の誕生ということもあって、翌週から毎日のように近所の皆さん方がお祝いの会を開いて頂き、また飲みすぎました。脇町では本当に仕事も一生懸命しましたし、ロータリーの皆様方、そしてお客様との交流の機会を沢山いただきました。私にとっては本当に思い出深い、そして一番私の銀行生活の中で、楽しい時代の一年七か月だったと言うふうに思います。お陰様で皆さんにお会いできる機会を頂いたのも、ロータリーに入会させていた

だいたからであり、ロータリーのおかげだと思います。本当にありがとうございました。

今日は皆様方に、RI 会長ゴードン・マッキナリー氏の方針について、少しかいつまんで皆様方にお願いをし、そして私のテーマについてもお話をしたいというふうに思っています。今年の RI 会長のテーマ「世界に希望を生み出そう」というテーマです。様々なクラブを訪ねた際、質問が多数あったのが、この世界に希望を生み出すためには何をしたらいいのですか、ということでした。

「世界に希望を生み出そう」というテーマは、まさに当クラブが所属しているこのエリアの中に多くの皆様方が生活しています。中には困っている方も、悩んでいるという方も多いと思います。そういう人たちに手を差し伸べるのがロータリーであり、また資源的な支援といったものも合わせて実行することによって、彼らにまた彼女らに希望を生み出すことができます。地域の困っている人たちを手助けし、手を差し伸べて希望を生み出す。これが RI のテーマだということをぜひ理解していただきたいと思います。ここも世界の一つなのだ、脇町も世界の一つであると言うことを考えていただけたら、分かりやすいのではないのでしょうか。

身近な例をあげると米山奨学生制度があります。これは日本独自の制度として RI も認めていただいた奨学金制度で、日本において取り組んでおります。日本のロータリアンが、みんなで寄付をして、寄付を原資として日本全国に寄付額に応じて奨学生を受け入れるという取り組み、そして彼らをしっかりとサポートしていく、チームとしてロータリーが支えていく、ちゃんと生活も含めてカウンセラーが指導する、こういった奨学金制度は日本以外にはありません。皆様と共に引き続き、一緒に取り組んでいきたいと思っています。

次に皆さん方をお願いするのが会員の増強です。これは永遠のテーマですけれども、今年の私のテーマは「チャレンジ～挑戦しよう」ということにしました。地区から皆様の前で、こういうことに取り組ましようと言ってお願いするのは、私は間違いだと思っています。したがって各クラブが求めている活動事業について、一生懸命取り組んでください。チャレンジしてください。そういう意味で「チャレンジ～挑戦しよう」というテーマにしました。それぞれのクラブで実行するものが違いますが、クラブが求めているものに一生懸命取り組んでいただくことこそが、本来あるべきテーマではないのかなと思うに思っています。そしてそれを実現するために何が必要なのかというと、やっぱり会員の力です。会員増強といったものが地区、会計の安定に繋がります。会員の増強に繋がれば、地区の力にもなります。各クラブでチャレンジする、それが効果として現れてくるというふうに思っています。会員の皆様がロータリーの活動を支えていると言うことを、今一度、理解していただけたらというふうに思います。特に今状況で一番力を入れないといけないのは若い会員の増強です。20 歳代の会員が一年経ったら立派なロータリアンに成長しています。そして家族会員の募集も少し早めにやっていくというプランもあります。家族会員が入会するのにもロータリーのルールの中に、しっかりと明記されて実現することができるようになっていきます。ぜひ一人でも多くの方が家族の方に、ある程度の年齢から入会を求めるのではなく、若いうちから入ってもらおうと非常に効果的です。

次にお話したいのは、今年からスタートした DEI(ディー・イー・アイ)です。「Diversity ダイバーシティ多様性」「Equity エクイティ公平性」そして「Inclusion インクルージョン包括性」の頭文字をとった言葉です。この DEI というのは多くの場合、企業の中で社員、そして経営の皆さん方との関係の中で、企業を活性化するために何が必要なのかという時にこの DEI といったものに取り組もうということで沢山の企業で取り組みが進められています。DEI は多様性を認めて受け入れる、そして生かすということ。この受け入れまででなく、生かすということが非常に重要だと言うことを、是非定義として理解をしていただけたらというふうに思っています。そして今 DEI の最も先進的な取り組みと言ったものが「Belongs ビロッキング帰属」といったものを追加されたもので、【DEI&B】があります。様々な経験を積み、様々な地域を持ち、様々な考えを持つロータリーのメンバーを迎え入れましょう、そして彼らが持っている能力、知識をロータリーの中で生かしてもらおう。自由に参加してもらい、公平に活動に参加する機会を与える、そして彼らが一生懸命取り組みをした事業が成功した時は、みんなで喜び合いましょう。そうすると次回はもっと大きな成果を実現するような取り組みに頑張ろうと言うように変わっていきます。そして評価をされている自分が、ロータリーの中で評価されていれば、これからも頑張ろうという気持ちになり、ロータリーという場所が本当に居心地のいい楽しい場所になっていきます。これこそが、DEI&B の中で求められている大きなテーマだと言うふうに思っています。ぜひそのことを皆さん方も一緒に考えながらこの DEI に取り組んでいただけたらと思います。

そしてもう一つ、SDGs とロータリーの関係といったものを表示しました。今ロータリーの研究会とか大会が開催されると SDGs の丸いマークバッチが売られています。ロータリーがいろんな事業に取り組んでいますが、国連が 2015 年に策定したこの SDGs というテーマに対してどの項目に該当してい

卓話  
吉岡ガバナー

るのかを、ロータリアンの皆様にも考えていただきたい、理解していただけたらという背景があるからです。ロータリーのビジョンも含めて、国連が進めている SDGs の一つの項目に該当する活動だということを確認することができます。何のためにやっているのかということ、国連の決議に基づいて SDGs があって、それに関連付けて我々は、いろんな取り組みを進めるということができるということになります。ぜひそういった意味で、一つやろうとしていることが、どういう風に SDGs と繋がっているのかという事を改めて考えていただく機会になればと思います。

名残惜しいですが、時間が残りわずかになりました。RI のテーマとは先ほど申し上げた「世界に希望を生み出そう」です。そして継続性と確信、変化といったものを求めています。継続性というものは単年度だけでなく、次年度へも継続してやっていただきたい、取り組みをしてくださいと言っている。継続して皆さんが取り組んでいただかないと成果に繋がらない、そういう時代になっているということです。ただし環境が変わっているのに同じことばかりやっているとはいけません。時代に合ったように変化をしていきましょう。変化をさせることによって自分自身の考え方も変化します。自分自身の変化につながるような、活動をぜひ求めて取り組んでください。と言うのが RI のテーマとして示された部分であり、脇町ロータリークラブの今期テーマ「継続と変化」でもあるのです。是非それを今後も考えながら、実行していただけたらと思います。

最後に一点だけ申し上げております。活動はクラブがするものです。クラブができないことは、ロータリーでは何もできません。皆さん方には是非のことを理解して取り組んでいただくことをお願いして、皆様方へのお願いとそして感謝の言葉とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

### ●ニコニコボックス

吉岡ガバナー、笠井ガバナー補佐、久岡米山奨学委員長、川原会長

### ●例会ダイジェスト

今週の見出し！

吉岡ガバナーが、ご訪問されました！

1. 例会前の一コマ。



2. 記念ペナント交換。



1. 吉岡ガバナー、笠井ガバナー補佐と。

2. よく見ると、お互いサイン入りなんですね！

3. 緊張してます…。



4. チャレンジ！



3. 紹介はガバナーの記憶に残る、名調子！

4. みんなで挑戦しよう！そして継続と変化を…。

次回例会

2023年12月7日(木) 12:30～

清月屋敷

プログラム

定時総会・クラブ協議会

- ☆ 次の会員は例会欠席でした。 一井会員、小野会員、上柿会員、北川会員、木下会員、郷司会員、千葉会員、豊島会員、秦会員、平山会員、藤村会員、南善幸会員、吉野会員

メイクアップして下さい。

- ☆ 次回例会の出欠を黒川出席委員長まで連絡してください。